

NY 市場レポート

◀ NY 市場概況 ▶

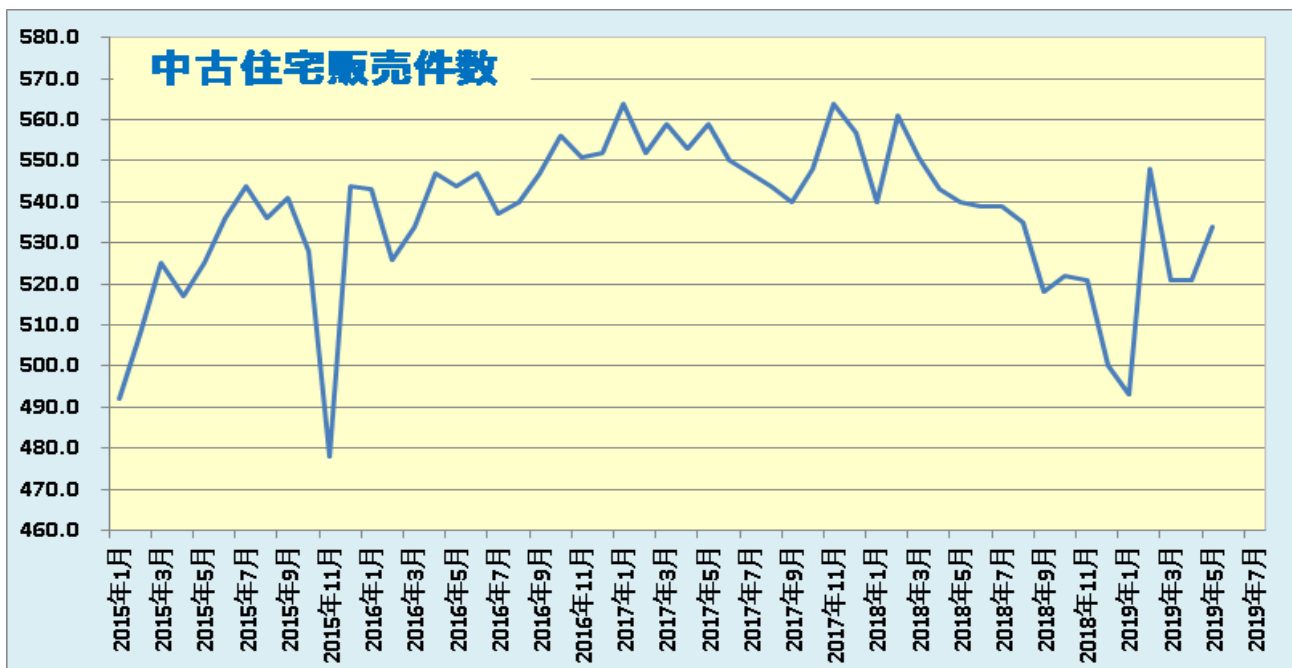
NY 市場では、トランプ大統領がイランへの報復攻撃を検討したが、行動を起こすのは相応ではないとして攻撃を取りやめたことを明らかにしたことで、リスク回避の動きが和らぎ、ドル円・クロス円は堅調な動きとなった。さらに、米中古住宅販売件数が予想を上回る結果となったこともドルの下支え要因となった。その後、米商務省が中国のスーパーコンピューター製造企業などを禁輸対象に加えると発表したことが米中通商協議に影響するとの懸念が高まり、ドルは主要通貨に対して下落した。一方、ユーロやポンドは対ドルでの上昇も影響し、対円でも底固い動きが続いた。

主要な米経済指標結果

5 月中古住宅販売件数 534 万件（予想 527 万件・前回 519 万件）

5 月中古住宅販売件数（前月比） 2.5%（予想 1.4%・前回 -0.4%）

5 月の米中古住宅販売件数は、市場予想を上回り、3 ヶ月ぶりの高水準となった。前年比では-1.1%だった。統計データを見ると、一戸建て住宅は、前月比+2.6%の 475 万件、集合住宅は+1.7%の 59 万件。成約物件の中間価格は前年比+4.8%の 27.8 万ドル、平均販売価格は+3.4%の 31.4 万ドルだった。地域別では、北東部が前月比+4.7%の 67 万件、中西部が+3.4%の 122 万件、南部が 1.8%の 232 万件、西部が+1.8%の 113 万件だった。また、市場の住宅在庫は前月比+4.9%の 192 万件、在庫率は 4.3 ヶ月と前月比で上昇した。



データを基に SBILM が作成

米主要株価指数は小幅反落

米株式市場は、中東情勢の緊迫化に対する懸念を背景に、主要株価指数は上値の重い動きとなった。さらに、中国のスーパーコンピューター製造企業など5団体を禁輸対象に加えると米商務省が発表したことも圧迫要因となり、小幅反落となった。ダウ平均株価は、序盤から堅調な動きとなり、一時前日比154ドル高まで上昇し、取引時間中の過去最高値に近づく場面もあった。しかし、その後は下げ幅を縮小する動きとなり、終盤にマイナス圏まで下落し、34ドル安で終了した。一方、ハイテク株中心のナスダックも19ポイント安で終了した。



データを基に SBILM が作成

セクター別変動率(ダウ平均)			個別の変動率(ダウ平均銘柄)		
	セクター	変動率		銘柄	変動率
1	素材	-1.16%	1	ウォルト・ディズニー	-1.26%
2	消費者サービス	-0.57%	2	DOW	-1.16%
3	資本財	-0.57%	3	ユニテッドT	-0.98%
	ヘルスケア	0.86%		エクソン	1.41%
	石油・ガス	0.86%		ユニテッドH	1.82%

データを基に SBILM が作成

ドルは主要通貨に対して上値の重い動き

トランプ大統領がイランへの報復攻撃を検討したが、行動を起こすのは相応ではないとして攻撃を取りやめたことを明らかにしたことで、リスク回避の動きが和らぎ、ドル円・クロス円は堅調な動きとなった。さらに、米中古住宅販売件数が予想を上回る結果となったこともドルの下支え要因となった。その後、ミネアポリス連銀総裁が、FOMC 会合で 0.50% の利下げを主張したことを明らかにしたことや、米商務省が中国のスーパーコンピューター製造企業などを禁輸対象に加えると発表したことで、米中通商協議に影響するとの懸念が高まったことも加わり、ドルは主要通貨に対して下落した。一方、ユーロやポンドは対ドルでの上昇も影響し、対円でも底固い動きが続いた。ただ、中国との貿易で関連の深いことから、豪ドルは対円でやや上値の重い動きとなった。



出所：総合分析チャート

前営業日のロシアルーブル、ブラジルリアル

◇ロシアルーブル

先週末 21 日のルーブルは 63.23 ルーブル、対円で 1.7026 円と対ドル、対円で反落した。米議会でのロシア国債も対象に含めたロシア制裁法案成立への懸念がロシア債券市場の反落につながったことに加え、前日までの ECB や FRB の緩和期待を背景にルーブル買いが続いた反動もルーブル売りの一因につながっ

た。ドル建のロシア RTS 株価指数は 16.19Pts 安の 1375.02Pts と反落したほか、MOEX 指数も 2761.23Pts (18.97Pts 安) と下落した。前日に MOEX 指数が史上最高値を更新したことでの高値警戒感に加え、米議会でのロシア国債も制裁対象に含めた対ロシア追加制裁法案成立への懸念も重石となった。

◇ブラジルリアル

先週末 21 日のリアルは 1 ドル=3.8232 レアル、対円で 28.075 円と対ドル、対円で上昇した。FRB の緩和観測が引き続き新興国通貨への資金流入期待を背景にした堅調地合いを維持したものの、3.8000 レアルが節目として意識されているほか、年金改革法案の行方を確認したいとする慎重な見方が上値抑制の一因となった。ボブスパ指数は 1709.23Pts 高の 102,012.64Pts と 3 日続伸して取引を終え先週 1 週間で 4.05% の上昇となった。NY ダウが一時 154 ドル高まで上昇し昨年 10/3 の終値ベースでの史上最高値 (26,828 ドル) を上回る 26,907 ドルまで上昇するなどリスク選好の動きを好感した買いも観測された。

提供：SBI リクイディティ・マーケット株式会社

お客様は、本レポートに表示されている情報をお客様自身のためにのみご利用するものとし、第三者への提供、再配信を行うこと、独自に加工すること、複製もしくは加工したものを第三者に譲渡または使用させることは出来ません。情報の内容については万全を期しておりますが、その内容を保証するものではありません。また、これらの情報によって生じたいかなる損害についても、当社および本情報提供者は一切の責任を負いません。

本レポートに表示されている事項は、投資一般に関する情報の提供を目的としたものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資にあたっての最終判断はお客様ご自身でお願いします。